

論点再確認 報告書

平成 22 年 11 月 29 日

論点再確認作業について

浅川ダム建設にあたり、県民の皆さんからこれまでに頂いた浅川に関する疑問点を再確認し、知事が判断を行い説明責任を果すための論点を整理検討することを目的に作業を進めてまいりました。

再確認にあたっては、予断を排し、可能な限り客観的なデータと資料に基づき行うことを心がけました。

また、専門家の方々からもお話しを伺うとともに、新たなシミュレーション等、多くの作業を行い、精度の高い確認を目指しました。

1 主な論点（下線部は今回、新たに確認した項目）

論点1 ダムの必要性について

1-1 浅川ダムの治水効果について

①浅川の外水被害

- ・浸水想定区域図（床上浸水最大）
- ・外水氾濫の流速
- ・ゲリラ豪雨に対するダムの効果

②ダムなしの代替案

- ・代替案比較表
- ・河川改修後の治水安全度

③浅川ダムの必要性

1-2 浅川ダムと内水対策

- ・ダムの内水と外水に対する効果説明経緯

1-3 ゲリラ豪雨等大きな気象変化への対応について

- ・ゲリラ豪雨に対するダムの効果（再掲）

1-4 基本高水を下げることについて

- ①基本高水流量の妥当性
- ②既往最大洪水からの決定
- ③カバー率による決定

1-5 浅川ダムの費用対効果

- ・費用対効果算出（河川改修完でダム建設、ダム建設残事業）

論点2 内水対策について

2-1 内水氾濫メカニズム、内水ハザードマップ等

- ・内水氾濫シミュレーション

2-2 千曲川の改修

- ・千曲川の改修計画

2-3 下水道等との連携

- ・浅川流域治水対策連絡会

論点3 ダムの安全性

3-1 基礎岩盤について

- ・ 学識経験者への意見聴取（協坂安彦土木研究所地質監、川上浩信州大学名誉教授）
- ・ 基礎岩盤について（スメクタイトについて）
- 3-2 断層について
 - ・ 学識経験者への意見聴取（協坂安彦土木研究所地質監、川上浩信州大学名誉教授）（再掲）
 - ・ 断層について（活断層、F-V断層、F-9断層と線状凹地の関連）
- 3-3 地すべりについて
 - ・ 学識経験者への意見聴取（協坂安彦土木研究所地質監、川上浩信州大学名誉教授）（再掲）
 - ・ 地すべりについて（貯水池周辺、線状凹地、地附山、大滝ダム）
- 3-4 穴づまりについて
 - ・ 穴づまりについて
- 論点4 基本高水流量の妥当性について
 - 4-1 基本高水流量の決定方法
 - ・ 基本高水流量の決定手順
 - ①治水安全度
 - ・ 県内主要河川の治水安全度一覧
 - ②基本高水流量の妥当性
 - ・ 対象降雨における短時間雨量の計画規模との比較
 - ③既往最大洪水からの決定
 - ④カバー率による決定
 - 4-2 飽和雨量（Rsa）
 - ・ 飽和雨量（Rsa）の妥当性、H7・H16洪水のRsa
 - 4-3 流域分割の変遷
 - ・ 流域分割の変遷、貯留関数法における定数
- 論点5 河川整備計画の策定手続きについて
 - ・ 河川整備計画策定手続き
 - ・ 河川法16条の2、79条
 - ・ 浅川河川整備計画作成経過

2 作業の構成員

- ・ 和田恭良副知事（責任者）
- ・ 奥田隆則財政課長
- ・ 秦久昭農地整備課長
- ・ 市村敏文森林づくり推進課長
- ・ 太田寛参事兼建設政策課長
- ・ 北村勉河川課長
- ・ 長井隆幸参事兼砂防課長

【事務局】建設政策課

3 作業日時・内容

第1回 平成22年9月24日(金) 14:40~16:30

- ・ 会議の進め方や内容の確認
- ・ 浅川治水計画に関するデータや住民説明資料等を確認
- ・ 県民からこれまで頂いた疑問点、訴訟の争点等を確認
- ・ 構成員の現地調査を実施することとした
- ・ 下記の課題を整理することとした
 - 1 ダムの必要性・効果 (ハザードマップ、説明経緯、ゲリラ豪雨)
 - 2 内水対策 (内水ハザードマップ、下水道等の連携)
 - 3 ダムの安全性 (基礎岩盤、活断層、地すべり、穴づまり)
 - 4 基本高水流量の妥当性
 - 5 河川整備計画の策定手続き

現地調査 平成22年9月28日(火) 14:00~17:00

専門家意見聴取 平成22年9月29日(水)

- ・ 浅川の治水対策について (宮本博司元淀川水系流域委員会委員長)

第2回 平成22年10月15日(金) 10:00~12:00

- ・ 第1回における課題の検討 (ダムの必要性・効果、内水対策、ダムの安全性、基本高水流量、河川整備計画の策定手続き)
- ・ 上記課題に関連して確認すべき項目を追加した
 - 1-1 浅川の氾濫の被害想定の詳細 (ダムの必要性)
 - 2-1 浅川の内水氾濫のメカニズム (内水対策)
 - 2-2 千曲川の改修状況 (内水対策)
 - 4-1 県内の他河川の治水安全度 (基本高水流量)
 - 4-2 基本高水決定の飽和雨量 (Rsa) の根拠 (基本高水流量)

第3回 平成22年10月25日(月) 13:30~14:30

- ・ 地すべり等に対する安全性の確認 (独立行政法人土木研究所 脇坂安彦地質監説明)

中間報告 平成22年11月4日(木) 16:20~18:00

第4回 平成22年11月12日(金) 8:45~9:40

- ・ 地すべり等に対する安全性の確認 (川上浩信州大学名誉教授説明)

専門家意見聴取 平成22年11月13日(土)

- ・ 浅川の治水対策について (宮本博司元淀川水系流域委員会委員長)

第5回 平成22年11月24日(水) 8:45~10:30

- ・ 論点再確認報告書(案)について
- ・ 参考資料集について
- ・ 森林の保水力について

専門家意見聴取 平成22年11月24日(水)

- ・ 基本高水流量について (宮本博司元淀川水系流域委員会委員長)

第6回 平成22年11月25日(木) 10:45~11:45

- ・ 基本高水流量について (富所五郎信州大学名誉教授説明)

論点再確認報告書

1 ダムの必要性について

1-1 浅川ダムの治水効果について

- (1) 浅川の氾濫メカニズム
- (2) 過去の被害と治水対策
- (3) ダム建設に対する異論
- (4) 今回再確認
 - ① 浅川の外水被害
 - ② ダムなしの代替案
 - ③ 浅川ダムの必要性

1-2 浅川ダムと内水対策

- (1) 内水氾濫と浅川ダム
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認

1-3 ゲリラ豪雨等大きな気象変化への対応について

- (1) ゲリラ豪雨の頻発
- (2) 今回再確認

1-4 基本高水を下げることについて

- (1) 基本高水流量
- (2) 治水・利水ダム等検討委員会の答申(平成14年6月)
- (3) 引き下げの検討
- (4) ダム建設に対する異論
- (5) 今回再確認
 - ① 基本高水流量の妥当性
 - ② 既往最大洪水からの決定
 - ③ カバー率による決定

1-5 浅川ダムの費用対効果

2 内水対策について

2-1 内水氾濫メカニズム、内水ハザードマップ等

- (1) 内水氾濫の対策
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認

2-2 千曲川の改修

- (1) 浅川流域における内水氾濫
- (2) 今回再確認

2-3 下水道等との連携

- (1) 下水道等との連携等これまでの総合治水対策実施内容
- (2) 今回再確認

3 ダムの安全性

3-1 基礎岩盤について

- (1) 浅川ダムにおける基礎岩盤の調査について
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認

3-2 断層について

- (1) 浅川ダムにおける断層調査について
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認

3-3 地すべりについて

- (1) 浅川ダムにおける地すべりの調査と対策について
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認

3-4 穴づまりについて

- (1) 浅川ダムにおける穴づまりについて
- (2) ダム建設に対する異論

(3) 今回再確認

4 基本高水流量の妥当性について

4-1 基本高水流量の決定方法

- (1) 治水安全度
- (2) 基本高水流量の決定方法
- (3) ダム建設に対する異論
- (4) 今回再確認
 - ① 治水安全度
 - ② 基本高水流量の妥当性
 - ③ 既往最大洪水からの決定
 - ④ カバー率による決定

4-2 飽和雨量 (Rsa)

- (1) 飽和雨量 (Rsa) とは
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認
 - ① 浅川ダムの集水区域の森林の状況
 - ② 森林の有効貯留量
 - ③ 近年の降雨での確認

4-3 流域分割の変遷について

- (1) 流域分割の変遷について
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認
 - ① 流域分割
 - ② 貯留関数法における定数

5 河川整備計画の策定手続きについて

- (1) 河川整備計画について
- (2) ダム建設に対する異論
- (3) 今回再確認